



ことしば

時と場に応じた
正しい言葉づかい
相手より先に
明るくあいさつ

目を見て耳を傾け
確かな学び合い
自ら進んで育てる
元気な心と体

3月号

窓あけて窓いっぱいいの春

種田山頭火

寒かった2月。

今年の冬は、日本各地で大雪のニュースを聞くことが多く、地域によっては大変な思いをされた所もあるようです。私たちの住む琴芝でも、何度か積雪や凍結を経験し、舞う雪を見ることもありました。雪の風景は幻想的であり、見る人の心を掴みます。その反面、大雪被害の出た地域に住む人々にとっては、人間生活に大きな影響を与える辛い風景でもあるのです。

上は自然界と人間社会の関係ですが、同じようなことは、毎日の学校生活を送る子どもたちにも当てはまる部分があります。例えば、「これ、いいね!」とあなたが思ったとしても、ある人にとっては悲しい出来事だったり・・・。

自分の思いと他人の思いを上手に寄り添わせ、相手の心を思いやりながら自分の意見を伝えていく。・・・大人でも難しいことです。けれども、これからの未来社会を生き抜く力を育てるには、避けては通れない能力でもあります。「適切なコミュニケーション能力」の重要性は、今後さらに学校教育の中で叫ばれていくことでしょう。

これからの人生、子どもたちは様々な出会いと別れの中で、自分視点と他人視点の違いに気付く場面が多々あると思います。ある時には、それで傷つくことがあるかもしれません。その時に、「適切なコミュニケーション能力」が自分の内面に育っていれば、それを上手に回避し、相手に正しく思いを伝えることができるかもしれません。

とは言え、あまり相手のことばかりに囚われてしまうと、自分の思いや願いを表出できなくなりますね。要は、バランスだと思えます。

進級・進学を間近に控えたこの時期、琴芝小の子どもたちが、多くの仲間との触れ合い（接し方）について、少し考えてくれればうれしいです。暖かくなる春の訪れとともに、みんなの心も温かくなってほしいからです。



銀世界になった学校風景

○なかよし「卒業生を送る会」開催



2月8日に、近隣の特別支援学級児童生徒の卒業を祝う「卒業生を送る会」が、総合福祉会館にて開催されました。

各校からの出し物や手品ショーで、会場は大いに盛り上がりましたね。みんなの心がホッと温かくなる1日になりました。

○1年「人権教室」を実施



2月21日に、1年生を対象にした人権教室を行いました。当日は、人権イメージキャラクター「人KENまもる君とあゆみちゃん」に来てもらって、人権問題や差別をなくす取組をみんなで考えました。人権については、低学年の段階から、ひとつずつ丁寧に積み重ねていくことが大切です。